

年に1度は健診を受けましょう！

自覚症状だけで健康を判断すると、疾病やその重症化を見逃すことがあります。健診は無料で受けられますので、年に1度は健康診断を受け自分の体の状態を知りましょう

受診方法①

集団健診 (保健福祉センター・各地域センター)

日程	場所・時間		○基本的な健診項目：無料 身体計測、問診、診察、尿検査、血圧測定、血液検査、眼底検査、心電図 ○結核・肺がん検診（40歳以上）：無料 ※次頁参照 ○希望により以下の検査が受けられます ・肝炎ウイルス検査 ※次頁参照 300円 ・エキノコックス症検査 無料 ・喀痰検査（40歳以上）300円 ・前立腺がん検査（50歳以上男性）500円
6月25日 (日)	公民館 7:00~9:30		
6月26日 (月)	中和地域センター 7:00~8:00		
6月27日 (火)	保健福祉センター 6:30~10:00		
6月28日 (水)	松岡地域センター	保健福祉センター	
	6:30~7:30	9:00~9:30	
6月29日 (木)	三和地域センター	保健福祉センター	
	7:00~7:30	9:00~9:30	
6月30日 (金)	大成寿の家	保健福祉センター	
	7:00~7:30	9:00~9:30	
7月7日 (金)	西和地域センター	保健福祉センター	
	7:00~7:30	9:00~9:30	
7月8日 (土)	保健福祉センター		
	6:30~10:00		

お住まいの近くで健診を受けられます！
左記から日時をお選びください



受診方法②

個別健診 (町立病院)

【健診場所】 町立病院

【健診日時】 4月から12月の平日

【個別健診のみの追加検査】

- ・胃がん検診（カメラ/バリウム：35歳以上）1,500円
- ・大腸がん検診（35歳以上）無料
- ・骨密度検査（40~70歳女性）300円

健診を通院日に合わせることもできます！



＜社会保険の被扶養者（家族）の方＞

40歳から74歳までの方で、加入先の保険者から発行される特定健康診査受診券と健康保険証を持参いただける方は、集団健診・個別健診を受診することができます。この場合も予約が必要です。

※加入保険によって健診項目・料金が異なります

オプション① 肺がん・結核検診(レントゲン検査)を受けましょう！(40歳以上)

【受診方法】

- ①集団健診～右表の日程で行います。申込みは必要ありません。時間内に会場までお越しください。
- ②個別健診～町立和寒病院で随時検査を受けることができます。直接町立病院にお申し込みください。

【検診料】無料

【持ち物】健康保険証(被保険者証)を必ずご持参ください。

【注意】服装はボタン類その他凹凸など飾りのあるものは避け、湿布・エレキバン等はつけないでください。

◆◆結核・肺がん検診を受けなくてよいかた◆◆

- ・職場や学校で検診を受けたかた
- ・人間ドックなどの健診を受けたかた
- ・結核や肺の病気で治療中のかた
- ・妊娠中のかたなど

年に1回は検診を受けて
結核・肺がんの早期発見
に努めましょう！

＝健康のため、喫煙は控えましょう＝



オプション② 肝炎ウイルス検査も一緒に受けられます！(受診歴のない方)

【対象】20歳以上の町民で以下に該当する方

- ・過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
- ・他の機会に同様の検査を受ける予定がない方

【検査内容】血液検査(HBs抗原検査及びHCV抗体検査)

【検査料】300円

【受診方法】①町で実施する基本・特定・後期高齢者健康診査(集団健診)を受診される方
ご希望の方は当日の問診でお申し出ください。

②上記以外のかた

町立和寒病院で随時検査を受けることができます。直接病院にお申し込みください。



オプション③ 胃がんの予防と早期発見に努めましょう！(35歳以上)

【対象】35歳以上の方

【検査内容】胃バリウム検査：発泡剤とバリウムを飲み、レントゲン写真を撮ります。病的変化の起きている位置や進行度などがわかります。

内視鏡検査(胃カメラ)：内視鏡で粘膜の状態を直接見ます。病的変化の大きさや形、出血の有無などがわかります。

【検査料】1,500円(町立病院)

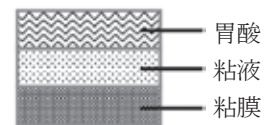
＜胃がん検診でわかること＞

健康な胃では、強い酸性の胃酸と粘膜を守る粘液のバランスが保たれていますが、バランスが崩れると粘膜に障害が起こり、胃がんが発生しやすくなります。

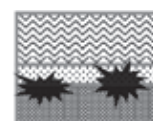
しかし早期の胃がんは自覚症状がないことが多いため胃がん検診を受けることで、胃の中の病的な変化を早期に発見することができます。



健康な胃の内側



胃酸と粘液のバランス
が崩れると…



胃がんにな
りやすくな
ります

注意が必要な生活習慣

- ①喫煙～発がん性物質を含み、粘液の分泌を悪くします。
- ②高脂肪の食事～胃酸の量が増加します。
- ③塩分～濃い塩分が粘液を壊し粘膜の炎症を引き起こします。
- ④アルコール～発がん性物質を体に取り込ませやすくなります。

◆お申込み・お問い合わせは保健福祉センターまで◆

